

[ペルメトリン乳剤]

農林水産省登録 第15957号

性 状: 淡黄色澄明可乳化油状液体

毒 性: 普通物

危険物: 第4類第2石油類 III

有効年限: 5 年

包 装: 100 ml × 60 本、500 ml × 20 本

アディオ[®] 乳 剤

有効成分: ペルメトリン …………… 20.0%

殺虫剤分類 **3A**



「住友化学農業ガイド」の見方: i-農カサイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報: こちらの2次元バーコードを読み取るとi-農カサイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧になれます。

[適用と使用方法]

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
な し	アブラムシ類 シンクイムシ類	2000~3000倍	200~ 700 l	前日	2回	散布
	ハマキムシ類 カメムシ類	2000倍				
も も	カメムシ類	2000~3000倍				
	シンクイムシ類 アブラムシ類					
	ハマキムシ類					
	モモハモグリガ					
ネクターン	カメムシ類	2000倍				
	シンクイムシ類・アブラムシ類	2000~3000倍				
	モモハモグリガ	2000~4000倍				
か き	カキクダアザミウマ	2000倍				
	カキノヘタムシガ チャノキイロアザミウマ カメムシ類	2000~3000倍				
	キウイフルーツ	2000倍				
く り	キウイフルーツ	2000倍				
	クリタマバチ	1000~2000倍				
か ん き つ	クリシギゾウムシ	2000倍				
	ミカンハモグリガ アブラムシ類	2000~4000倍				
	チャノキイロアザミウマ	2000~3000倍				
	カメムシ類	2000倍				
いちじく	アザミウマ類・アブラムシ類	2000倍				
	イチジクヒトリモドキ	3000倍				
アロニア						
はまなす (果実)	シンクイムシ類	2000倍				
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類・ウリハムシ					
ズッキーニ		2000~3000倍				
	アブラムシ類・フキノメイガ					
にがうり	アブラムシ類・カメムシ類 タバコカスミカメ・ヨトウムシ類 フキノメイガ					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
すいか メロン かぼち ちご	アブラムシ類	2000~3000倍	100~ 300 l	前日	5回	散布
		3000倍				
		2000~3000倍				
ごぼう	ヨトウムシ	2000倍				
だいず	フタスジヒメハムシ マメシンクイガ アブラムシ類 マメハンミョウ ツメクサガ ウコンノメイガ カメムシ類	3000倍		7日前	3回	
	マメシンクイガ アブラムシ類	24倍	0.8 l			無人航空機 による散布
うめ	アブラムシ類	3000倍	200~ 700 l	前日	2回	散布
ピーマン		2000~3000倍	100~ 300 l		5回	
	とうがらし類	タバコガ・カメムシ類		2000倍	7日前	2回
		アブラムシ類	2000~3000倍			
	タバコガ	2000倍				
キャベツ	ネキリムシ類	4000~8000倍	0.5 l / m ²	21日前	本剤：2回 ベルメトリン ：5回 (株元灌注 は2回)	株元 灌注
	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ タマナギンウワバ	2000倍	100~ 300 l	3日前	本剤：5回 ベルメトリン ：5回 (株元灌注 は2回)	散布
はくさい	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ ハクサイダニ			7日前	5回	
だいこん	アオムシ ダイコンハムシ コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ	2000~3000倍	100~ 300 l	30日前	4回	散布
	アブラムシ類					
かぶ	アオムシ	2000倍		前日	本剤：2回 ベルメトリン ：4回 (散布は 2回)	散布
茎ブロッコリー				7日前	3回	
ブロッコリー カリフラワー	コナガ アブラムシ類			3日前	5回	
非結球レタス	アブラムシ類 ヨトウムシ	2000~3000倍		前日	本剤：2回 ベルメトリン ：4回 (#2)	散布
レタス				3日前	5回	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法		
ト レ ビ ス	アブラムシ類	3000 倍	100～ 300 ℓ	7 日前	3 回	散布		
た ま ね ぎ	アザミウマ類・ネギコガ ハスモンヨトウ				5 回			
ね ぎ	アザミウマ類・ネギコガ シロイチモジヨトウ				2000 倍			
に ん に く	ネギコガ アブラムシ類	2000～3000 倍	1.6 ℓ	前日	本剤：2回 ベルメトリン ：4回 (#2)	無人航空機 による散布		
	アブラムシ類	32～48 倍						
ハスカップ	ハマキムシ類 アブラムシ類	2000～3000 倍	200～ 700 ℓ	3 日前	2 回	散布		
アスパラガス	ジュウシホシクビナガハムシ カメムシ類		2000 倍	100～ 300 ℓ	前日		3 回	
さやいんげん	カメムシ類	3000 倍	14 日前		7 日前			
	豆 類 (未成熟、ただし、 えだまめ、さやい んげん、さやえん どう、未成熟そら まめを除く)							アザミウマ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 ウラナミシジミ アズキノメイガ マメシンクイガ
未成熟そらまめ	ウコンノメイガ ツメクサガ フタスジヒメハムシ マメハンミョウ				前日			
え だ ま め	ヨトウムシ類・ナモグリバエ ウラナミシジミ				前日			
さやえんどう	アブラムシ類・ハクサイダニ				14 日前		2 回	
ほうれんそう	ハスモンヨトウ・アザミウマ類 アブラムシ類・コナジラミ類 ウリハムシモドキ				4000 倍		前日	本剤：2回 ベルメトリン ：4回 (#2)
し そ	オンシツコナジラミ アブラムシ類				2000～3000 倍			本剤：3回 ベルメトリン ：4回 (#3)
ミ ト マ ト	アブラムシ類				2000 倍		前日	3 回
ト マ ト	オンシツコナジラミ テントウムシダマシ類 カメムシ類							
な す	コナガ アオムシ			2000～3000 倍	14 日前	4 回		
な ば な 類	アブラムシ類 テントウムシダマシ類							
ばれいしょ	アワノメイガ	2000 倍	7 日前	3 回				
とうもろこし	アブラムシ類	3000 倍						
あ ず き	アズキノメイガ	2000 倍	3000 倍					
	アブラムシ類	3000 倍						

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
やまのいも	アブラムシ類・ヤマノイモコガ アザミウマ類	2000~3000倍	100~ 300ℓ	7日前	5回	散布
さといも	ハスモンヨトウ	2000倍				
	アブラムシ類・スズメガ類	3000倍				
かんしょ	イモコガ		200~ 400ℓ	摘採14日前 まで	1回	
茶	チャノコカクモンハマキ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ チャノキイロアザミウマ	2000~3000倍				
そらまめ	アブラムシ類	3000倍	100~ 300ℓ	7日前	3回	
オクラ	ハスモンヨトウ・カメムシ類 アブラムシ類	2000倍				
非結球あぶらな科 葉菜類 (こまつな、非結球 はくさい、みずな、 なばな類を除く)	アオムシ					
非結球はくさい		2000~4000倍		前日		
こまつな	ハクサイダニ	2000倍				
みずな	アブラムシ類・ダイコンハムシ ヤサイソウムシ アオムシ	3000倍		200~ 700ℓ	7日前	2回
つるむらさき	ヨトウムシ	2000倍				
さるなし	キイロマイコガ			100~ 300ℓ	前日	5回
食用ゆり	アブラムシ類	3000倍				
葉ごぼう					14日前	2回
食用亜麻	ヨトウガ		3日前		3回	
ごま	カメムシ類 アブラムシ類	2000倍				
しゅんぎく	ハクサイダニ	4000倍	21日前		2回	
さといも (葉柄)	ハスモンヨトウ アブラムシ類	2000倍 3000倍	7日前			
はぼたん	アオムシ アブラムシ類	2000倍 2000~4000倍	発生初期		6回	
花き類・ 観葉植物 (はぼたんを除く)	カメムシ類 ハマキムシ類 ヨトウムシ類	2000倍				
	アブラムシ類	2000~4000倍				
	樹木類 (くちなしを除く)	ケムシ類 アブラムシ類 シャクトリムシ類		4000~8000倍		200~ 700ℓ
くちなし	アザミウマ類	2000倍				
はこべ	オオタバコガ	3000倍	100~ 300ℓ	21日前	1回	

- #1: 乳剤は3回、粒剤は3回
- #2: 乳剤は2回、粒剤は2回
- #3: 株元散布は1回、散布および噴射は合計3回



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。
- 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意する。
- みずかけな(水掛菜)、カラー及び花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用する。また、使用后14日間は入水しない。
- ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布する。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守る。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
 - 散布に当っては散布機種種に適合した散布装置を使用する。
 - 散布中薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - 特定の農薬(混用可能が確認されているもの)を除いて原則として他の農薬との混用は行わない。
 - 作業終了後は次の項目を守る。
 - ・使用後の空の容器は放置せず、適切に処理する。
 - ・使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管する。
 - ・機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。
なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しない。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 誤飲などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の担当を受けさせる。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受ける。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受ける。
- 原液は皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意する。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋などを着用する。また薬液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用はさける。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜

(2023年6月7日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト:i 農力<https://www.i-nouryoku.com/>

等に被害を及ぼさないように注意を払う。

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意する。
- 火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/農業ガイドの見方.pdf) (https://www.i-nouryoku.com/prod/search/農業ガイドの見方.pdf)」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4) - G」も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- 合成ピレスロイド系殺虫剤です。
- 70作物以上に登録を有しています。